

飯南

い
い
な
ん

第81号

令和7年4月18日

2-3 3月議会報告

可決した主な議案／陳情

令和7年度当初予算

令和6年度各会計補正予算

教育環境基本計画について

4

一般質問

5-10

討論／採決の結果

11

常任委員会報告

12-15

議会活動報告／全員協議会の報告

16

明日を拓く



令和7年

3月定例会を終えて

3月3日から18日までの16日間の日程で開催

大規模事業や災害復旧事業の完了に伴い、令和7年度一般会計予算は74億8600万円余で、前年と比べて7・1%、5億6千万円余の減額となった。

病児病後児保育施設の設置および管理に関する条例の制定や、辺地(志々地区)に係る総合整備計画、公共施設の指定管理者の指定など36件の議案が上程され可決した。

また、教育環境基本計画について、住民周知が不足していることから、議員発議(議会の議決すべき事件に関する条例・特別委員会設置)があり、全会一致で可決した。これにより教育環境の計画事業は議決事項になる。



令和7年度町予算決まる 一般会計・特別会計・事業会計の総額は 108億7539万円

会 計 名		予算総額
一 般 会 計		74億8652万円
特別会計	国民健康保険事業	6億2558万円
	後期高齢者医療事業	1億8954万円
	介護保険サービス事業	4105万円
病院事業会計		13億7715万円
簡易水道事業会計		5億7006万円
下水道事業会計		5億8547万円

可決した主な議案

条例関係

・地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定など14件

諸議案

・飯南町の辺地に係る総合整備計画など4件

・公の施設(飯南町谷笑楽校)の指定管理者の指定など6件

補正予算

・令和6年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など5件

予 算

・令和7年度飯南町一般会計予算など7件

委員会提出議案

・飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定

議員提出議案

・議会の議決すべき事件に関する条例の制定

・教育環境基本計画検討特別委員会の設置に関する決議

陳情

志々小学校応急対応方針に関する陳情

〔陳情者〕

飯南町立志々小学校

〔付託委員会〕

P T A会長 栃木健吾(志々小学校保護者一同)

〔審査の結果〕

採択

自治功労者表彰

2月21日に開催された島根県町村議会議長会定期総会において、議員在職15年以上の功績として、熊谷兼樹議員が全国町村議会議長会会長表彰を、議員在職12年以上の功績として、安部誠也議員が島根県町村議会議長会会長表彰を受けました。



安部誠也議員

熊谷兼樹議員

令和6年度 各会計補正予算 一般会計は 8720万円 減額に

琴引スキー場の来場客目標未達による指定管理料2200万円の増額、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業258万円の減額など、事業費確定見込みによる増減額など

会 計 名		補正予算額	予 算 総 額
一 般 会 計		△8720万円	88億 5656万円
特別会計	国民健康保険事業	59万円	6億4772万円
	病院事業会計	△4万円	14億5335万円
	下水道事業会計	△2200万円	5億6216万円



町民の安全確保は 行政の義務

内藤 眞一 議員



一般質問

令和7年
3月定例会

Q 防犯機器購入の補助を

テレビ・新聞等の報道で闇バイトや通り魔事件の報道がある。

鳥取県では、60歳以上の1世帯当たり、防犯機器1件1万5千円を上限に補助する防犯機器購入補助事業創設の新聞報道があった。

補助対象は、来訪者を確認できる「カメラ付きドアホン」、夜間撮影も可能な「防犯カメラ」、人や動物に反応し光を照射する「センサーライト」の3種類だ。

町民の生命と財産を守るのは行政の仕事である。予算化してでもその義務を果たすべきと思うが、町長の考えを伺う。



防犯カメラ

A 啓発活動継続で 犯罪防止

町長 塚原隆昭

県内でも1億円近くの詐欺被害を受けた事件があり、警察署の依頼で告知放送を行っている。

本町では、防犯カメラ設置・防犯灯のLED化・消防団によるパトロール等の実施で、町民の安心・安全を守る取り組みを行っている。

世帯用防犯機器の購入補助は予定していない。

家庭での防犯対策強化への周知や啓発活動を継続し、犯罪防止に取り組む。

教育環境基本計画検討 特別委員会を設置

全会一致で議案を可決

教育委員会から「教育環境基本計画」の素案が提示されたが、この素案を成案とすることは、住民の混乱と不満を招き、今後のまちづくりへの影響も避けられないと考える。

令和6年2月に答申を受けた「教育環境基本方針」には幾多の理念が述べられているが、このことを反映されているとは言い難く、あまりにも短絡的と批判されても仕方がない。

今議会の教育環境基本計画に対する一般質問では、「素案はあくまでも『たたき台』とした答弁であったが、本年2月に素案を提示し、6月に成案とするスケジュールからは、変更のないたたき台」ととらえられるのは当然

である。

答申には「学校は地域のよりどころでもあるため、その配置については多様な意見や考え方が存在します」、「多くの議論が交わされることを願っております」とあえて記されるほど、十分な議論が必要との思いではなからうか。

また、このような重要な事項は、決定に至る過程が極めて大切であると考ええる。

こうしたことから、議会として「教育環境基本計画」素案を審査し、議会の意見を述べる必要があると考えられ、議員から特別委員会の設置を求める議案が提案され、全会一致で可決した。

教育環境基本計画検討特別委員会

委員 員…議長を除く9名
委員長…内藤眞一
副委員長…安部丘
審査 査…6月定例議会に調査・審査結果を報告することを目的に運営する

教育環境基本計画の策 定・改廃を議決すべき事 件とした

「教育環境基本計画」には、小中学校の再編など住民の関心を集める重要な事項が多く含まれており、今後のまちづくりにも大きな影響があると思われる。これを教育委員会かぎりで定めた行政計画では、住民自治の観点から望ましくない。

そのことから、住民の代表機関である議会の審議に付し、その議決を経て確定することにより、この計画が住民の総意として共有され、今後の教育行政の円滑な執行にも資するものと考えられる。

Q 高齢者や一人暮らし 世帯の見守りは

要支援者の見守りは施設入所が一番だが「収入の壁、費用の壁、介護の壁、認知症の壁」など入所には制約があり、更に介護職員不足で入所者数にも限りがある。

訪問介護に頼ることになるが職員不足であり、近所・地区役員さんへの見守り依頼も、無理をお願いすることになる。

冷蔵庫に取り付けて安否確認ができる緊急通報システム「まもりこ」がある。冷蔵庫の開閉の有無を必要なくここに連絡ができ、費用も購入費13200円、利用料は月額500円と聞く。本町でも検討してはどうか。



緊急通報システム

A より良い方法を 検討

町長 塚原隆昭

飯南町では、75歳以上の一人暮らし高齢者が緊急援助を必要とするとき、警備会社が駆けつける「緊急通報システム」を業者委託しており、利用件数は現在72件で、利用料金も本人負担はなく町が負担しているが、警備員が出動すれば、1回3850円の個人負担が発生する。

現在は、この緊急通報システムを継続したいと思っているが、よりよい見守りサービスを検討していく。

一般 質問

令和7年 3月定例会



学校再編は慎重に

平石 玲児 議員

A 素案はたたき台
教育長 大谷 哲也
素案については「たたき台」であり、今後関係者と協議を重ね、成案に仕上げていく。

Q 教育環境 基本計画を問う
議会全員協議会で小・中学校の再編の素案が示され、突然の発表に驚いている。
3月には住民説明会が予定されているが、この素案を実質的な計画として捉えており、短絡的な校舎の設置場所の決定は教育立町を目指す本町の努力に反するもので、未来に夢を持つことができる再編とすべきだ。
答申では「中高が強く連携した学習指導体制」「飯南町ならではの魅力ある教育を強化できる場所に立地」「各地域での議論を通じて飯南町にふさわしい教育環境の整備を期待」と言われ、このことが素案にどのように反映されているかを伺う。

A 膨大な建設費が必要
教育長 大谷 哲也
来島地域は教育文化ゾーンと認識して検討した。造成には広い敷地が必要。
校舎新築の建設費は概算で13億から14億円と見込まれるので、頓原中学校の校舎を使う方向性を示した。用地探しは、地権者への打診や実際の測量は行っていない。

A 慎重に検討
教育長 大谷 哲也
人口減少や少子化に対応するための重要な計画で、学校運営協議会などと意見交換を開始している。志々小学校のこともあり、早い段階で定めた。
計画策定委員会の設置や時期の延期については慎重に検討する。

A 議論を尽くす
町長 塚原 隆昭
関係者と議論を尽くし結論を導く。委員会設置は総合的に判断し決める。



来島地区を俯瞰撮影



高い国保料の引き下げを

伊藤 好晴 議員

Q 配食サービスのさらなる充実を

本町の配食サービスはどのような状況か。また、事業をどう評価しているのか。
昨年の決算特別委員会の聞き取りでは、現在1日あたり80食程度提供しており、手一杯になっているとのことだった。

社会福祉協議会で事情を聞いたところ「弁当業者に任せている自治体もあるが、見守りができなくなる。ここが抜けたら、社会福祉の一環としては不都合」ということだった。
回数を増やせば、心身の状態や生活を安定させること



調理作業の様子

ができると思う。
事業をもっと大きく育て、充実し、希望者全てに行き渡らせる必要があると思う。事業の原点に立ち返り、抜本的な改革を行う必要があると思わないか。

A 社協と協議・検討

町長 塚原 隆昭

今の配食サービスの内容を維持拡充していくためには、ボランティアの確保や適正な料金の設定など課題がある。

利用者の意見も聞き、委託先の社会福祉協議会と協議検討を行う。

Q 国保料引き下げへ

高い国保料の元凶は、国の予算削減と国保加入者の所得減・貧困化にある。国民健康保険への責任回避ともいえる国庫負担減額をどう思うか。

大阪府は国保への補助金を予算化し、健全な財政運営を図っている。県に働きかける必要があると思わないか。

本町の国保料と島根県の協会健保の保険料には約2倍の格差がある。国保には、家族数に応じてかかる「均等割」があり問題である。保険料が著しく高くなる原因だからである。子どもが生まれるたびにこの負担が増加する。少子化対策が叫ばれる今日、時代に逆行している。

子どもの均等割が半額免除とされたが、未就学児まで、小中高生には適用されていない。せめて子どもの均等割を高校卒業まで、子育て支援として免除することを提案する。



国に対し、国保への補助率引き上げを求め、国保料引き下げをめざせ。

A ささらなる 財政支援が必要

町長 塚原 隆昭

国の定率負担割合の見直し等、支援のさらなる拡充が必要である。
保険料の支払いは家計にとって大きな負担になっていると認識し、令和7年度は、保険料率の引き下げを検討している。

全被保険者に保険料減少を享受してもらうことを重視し、保険料の据え置き・引き下げで対応する。国へは引き続き要望し、動向を注視する。

交流人口の拡大を

安部 誠也 議員



Q 2地域居住の推進を

2地域居住は都市と地方にふたつの拠点をもち、定期的に地方でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルで「実践する側」と「受け入れる側」双方にメリットがある。

町内には団塊世代の高齢化で空き家バンクへ登録する住宅は増えている。空き家となった一般住宅や農地を貸して、春から秋は飯南町で農業をしながら暮らしてもらい、冬は都市圏で暮らしてもらう方法や週末滞在もある。

地方への人の流れを生み出し、東京一極集中の是正、交流人口の拡大、地域経済の活性化に期待されるが、取り組む考えは。



クラインガルテン(志津見)

A 内容を十分に精査し検討

町長塚原隆昭

クラインガルテンの滞在型市民農園がまさに2地域居住であり、25棟が常に満室で入居待ちの状態。

令和7年度は関係人口に関する事業を拡大したいが、2地域居住は、内容を十分に精査し検討を進めたい。

Q 自衛隊訓練地誘致を

昨年8月に雲南地区防衛協力会が設立され、趣旨に賛同した会員約110人のうち飯南町民は50人であり、防衛に対する関心の高さを示した。

自衛隊出雲駐屯地は能力が拡大されたが、近傍に訓練場がなく、最も近い演習場でも鳥取県江府町の日光演習場や岡山県勝田郡の日本原演習場等で、片道2時間以上かけて移動し、訓練を行っている。県内の自治体が受け入れをしない限り、永遠に解消しない課題だ。

訓練場が誘致できれば、災害時における自衛隊員及び車両等の集結地にでき、ヘリポートとして避難・救助、物資供給等の防災拠点として機能を保有できる。町の防災計画も国の予算で整備でき、防衛交付金等により訓練場周辺地域のインフラ整備も期待できる。町が何もしないではダメだ。国防に貢献すべきだ。

A 情報の収集を進める

町長塚原隆昭

財政上のメリット、騒音や環境への影響などのデメリットを様々な観点から、時間をかけて検討していく必要がある。防衛省に訓練場の誘致の働きかけはまだ考えていない。

飯南町は90%が山林のため適地があるのか、分からない。

訓練場の建設についての要件、手続きについては、情報収集等しっかりと進めたい。



Q 財政説明会の開催を

「賃金の上昇や物価が高騰しているにも関わらず、町の予算は高騰した分上がついているわけではない。行政は財政状況が厳しいことを認識していると思うが、町民は今までと同じサービスを求める。今までのようには出来ないことも出てくるということを、町民に対して丁寧に説明していく必要があるのではないか」というご意見を町民の方から聞いた。

A 理解を得るよう努める

町長塚原隆昭

まずはケーブルテレビで、音声と図表等を使い説明したい。

また、まちづくり懇話会を利用して私に直接聞いてみたいという場合には、もちろん出かけていきたい。



Q 小中一貫型学校も検討を

飯南町教育環境基本計画の素案は、飯南町の未来を担う子どもたちの教育環境をより良くするための土台となるもの。教育の中身も充実させ、魅力的にするための環境だ。外側、つまり建物とその場所だけの話ではなく教育の中身も含めて考える必要がある。

考えられる選択肢をすべて挙げ、しっかりと研究・検討してから選ぶ必要があるため、「小中一貫型学校」という選択肢を素案の段階で提示すべきでは。

A 今後の長期的な課題

教育長 大谷 哲也

素案について丁寧な説明をして、しっかりと意見を伺う、対話をする、議論を深める、こういったスタンスで臨みたい。現時点では「小中一貫型



学校については今後の長期的な課題」と位置づけている。

しかし、将来的に少子化に歯止めがかからず、小学校の集約化という方向に進む可能性もあるため、小中一貫型の研究も進めておく必要がある。

県内で先進的に取り組んでいる学校の情報収集などを、今後進めていきたい。

小中一貫型学校とは主に以下の2種類がある。

義務教育学校…小学校と中学校を統合した新しい学校種で、9年間の一貫した教育課程を編成する。

小中一貫型小学校・中学校…小学校と中学校が連携し、教育課程や教職員の交流などを通して一貫した教育を行う。

一般質問

令和7年
3月定例会

人材活用の
環境整備を

熊谷 兼樹 議員



Q 基金運用の状況は

本町は本年度末見込みで基金を36億円余を保有し、国債を中心に運用して成果を上げている。

今年度になり長期金利が上昇したことで、債券運用で多額の含み損を抱える地方自治体が複数あると先月報道された。本町の基金運用の状況を確認する。

また、償還までの期間が20年、30年という長期債が多くあると、財政運営上必要に迫られ、償還を待たず売却することで運用損が生じるリスクがある。このリスクを組織としてどのように管理しているのか問う。

A 方針を定め運用

町長塚原隆昭

基金は一般会計と特別会計を合わせ40億9千万円余あり、定期預金で14億5千万円、債券運用が20億円、残りを普通預金として管理している。



リスク回避の観点から債券と預金の割合は1対1を原則としている。

令和5年度の運用状況は、運用益が1千6百万円余となっており、貴重な財源として各基金に積み立てている。

保有している債券は長期債が多く、10年以内に償還を迎える債券は2億円のみである。

「飯南町資金運用方針」を定め、安全性と流動性を確保しつつ効率的な資金運用を行うこととし、運用にあたっては、副町長、総務課長、会計管理者、総務課財政担当で構成する資金運用会議を開催し、金融情勢等に注意し決定している。監査委員にも例月監査で報告し、確認を得ている。

Q 地域づくり協同組合の活用を

市町村は法律で協同組合の組合員にはならない。そのため、地域づくり協同組合から町に職員を派遣できないが、員外利用制度もある。本町の組合員は農業関係が多く、冬の派遣先は限定される。員外利用制度で町への派遣受け入れを検討できないか。

また、地域づくり協同組合が地域おこし協力隊員を募集・採用し農業事業所（組合員）に派遣、農作業を一から研修させる。

3年後に希望があれば自営就農するか農業法人や地域づくり協同組合に就職できるような環境を整え、農業を支える人材を育成してはどうか。

A 地域おこし協力隊の拡充から

町長塚原隆昭

町も職員不足であり、員外利用制度について検討したい。

地域づくり協同組合による地域おこし協力隊の採用は、在り方や課題の整理が必要。

令和7年度は「インターン型協力隊」と「お試し協力隊」などで受け入れを拡充する計画。

提案は今後の選択肢の一つと考える。



地域づくり協同組合事務所（農業活性化センター）

討論

議案第13号 飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 伊藤好晴 議員

国の言いなりで保険料を引き上げ、滞納額増加、保険証の取り上げ、再び保険料の引き上げという悪循環を繰り返すのではなく、町民の暮らし・医療を守る立場に立ち、負担の軽減を図るべきだ。

国に対して国保制度の抜本的見直しを求めるとともに、国保会計への財政出動を行い、町民の医療・健康を守る手立てを講ずるべきだ。

賛成討論 安部丘 議員

この条例改正は、賦課限度額を切り上げ中間所得層に配慮するものと、軽減措置を拡大し低所得者の負担を軽減するもの。

国保運営のバランスを保ちつつ苦しい立場の被保険者を、より救済する改正であり賛成する。

採決の結果

[3月定例会] 議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部丘	平石玲児	戸谷ひとみ
専決処分の承認(令和6年度飯南町一般会計補正予算(第8号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町都市・地域再生等利用区域の指定区域の利用に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町病児病後児保育施設の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町園芸作物生産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町子ども等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
赤名ファミリーケアセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の辺地に係る総合整備計画	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和解に関し議決を求めること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町谷笑楽校)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町ふるさと回想館)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(頓原ラムネ銀泉)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(下来島多目的集会施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町健康増進施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町地域食材提供施設)の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町病院事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度飯南町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度(交付金)頓原上町団地建設工事(1工区)請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度(交付金)頓原上町団地建設工事(2工区)請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[委員会提出議案]

飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[議員提出議案]

議会の議決すべき事件に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育環境基本計画検討特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[陳情の採択結果]

志々小学校応急対応方針に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部誠也
委員：早樋徹雄 高橋英次 安部 丘

常任委員会 報告

条 例

飯南町国民健康保険条例の一部改正

・基礎賦課額に係る賦課限度額を現行65万円から66万円に、後期高齢者支援金等賦課額に係る賦課限度額を現行24万円から26万円に引き上げる。
・均等割額及び平等割額を軽減する所得判定基準が見直され、5割軽減は現行29万5千円から30万5千円に、2割軽減は現行54万5千円から56万円に引き上げる。

令和7年度 飯南町一般会計予算

【歳出】 庁舎臨時管理費 自家消費型太陽光発電設備設置工事 1877万円

役場本庁舎の屋根及び壁に116枚のパネルを設置し、発電された電力を自家消費するもの。

【審査意見】
「飯南町地域防災計画」では「町及び施設管理者は、不特定多数の者が利用する施設、住宅、学校、行政関連施設等の応急対策上重要な施設、要配慮者に関わる社会福祉施設、医療施設等について、雪害に対する安全性の確保に配慮する」となっている。
このことに充分留意されたい。

公用車臨時管理費 486万円

軽トラックの更新、脱炭素社会の実現に向けて軽の電気自動車を購入する経費。

赤名農村環境改善センター臨時管理費 1億2648万円

赤名農村環境改善センターに非常用発電機設置及び空調設備を改修するものであり、いずれも避難所施設として機能を充実するために整備する。

笑顔と誇りを未来へ繋ぐいいなん暮らし応援給付事業 150万円

飯南町出身者及び飯南高校卒業生を対象として、町内に居住し就労する意思のある者(15歳以上、35歳未満)を支援するための新たな給付事業で、「住んで働く」者への支援としてい〜にゃんP A Y 10万ポイントを5年間、「町内就労」する者へ10万ポイントを5年間給付するものであり、重複での給付も可能である。

教育魅力化推進事業 高2留学経費 727万円

飯南高校の更なる魅力化を図るため、地域高2留学制度への参画を検討しており、令和7年度は実施に向けた準備を行う経費。



赤名公民館 景山良一 主事
高2留学制度で飯南町に関わる高校生が増えるのは楽しみです。せっかく1年間で飯南で過ごすなら、その経験が素晴らしいものとなるよう、内容を検討することが重要だと思います。

病児・病後児保育経常管理費 988万円

令和7年3月に完成した病児・病後児保育施設(愛称:ぱぶりか)において、令和7年度から開始される病児・病後児保育事業に要する経費。

この事業は、生後6カ月から小学校6年生までの子どもが病気にかかっていたり、回復期にあって安静にする必要があることから、保育所や小学校の利用ができず、併せて、勤務等の都合で家庭での保育が困難な場合に、1日2名まで一時的に預かる事業。



頓原公民館 菅 夏希 主事
親として子どもの体調が一番。でも休んで職場の人や仕事に影響が出ないか心配でした。そんな時、助けてと言える体制があるだけで心強く、子育て世代が安心して暮らしやすくなると思います。



病児・病後児保育施設(ぱぶりか)

滞在型地域交流拠点整備事業 1140万円

舗装工事などの外構工事費550万円、その他、工事完了後に周辺地域の建物や工作物の状況を確認し、工事による影響の調査を行う経費。

町営バス運行臨時管理費 412万円

令和8年度から令和12年度までの第3次地域公共交通計画を策定するための委託経費。

認知症対策推進費 高齢者補聴器購入事業 60万円

65歳以上の高齢者で、両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満の中等度難聴の方が補聴器を購入するときに、上限2万円を助成するもの。この助成は、一人1回限りとする。



谷公民館 高橋利英 主事
お悩みの高齢者の方が補聴器を使ってみようというきっかけになればいいなと思います。いろいろな手続きが必要なので、自治振興などと協力して申請などのサポートの場をつくりたいと思います。

議会活動報告 [1月～3月]

1 6日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
8日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
28日 雲南地域議会議長連絡会研修会
29日 議会活性化検討特別委員会
30日 総務厚生常任委員会

2 4日 議会運営委員会(臨時会の提出議案、日程外の協議)
7日 臨時議会 全員協議会
12日 議会活性化検討特別委員会
13日 議会活性化検討特別委員会
15日 飯南町町制20周年記念式典
18日 議会活性化検討特別委員会
19日 雲南広域連合議会2月定例会
21日 島根県町村議会議長会定期総会
25日 教育経済常任委員会
26日 議会運営委員会(3月定例会の提出議案、日程外の協議)
飯南病院事業審議会
27日 議会広報常任委員会 国保運営協議会
28日 総務厚生常任委員会

島根と関わる機会創出拡大事業 560万円

町内事業所の魅力を伝えるプロモーション冊子を作成し、移住・定住へのきっかけ作りとして活用、飯南高校卒業生など関係人口との関わり方を発見する機会の構築、飯南高校卒業生が住んでいる都市部にホストファミリーが出向き交流を深めるもの。

小さな拠点づくり推進事業 298万円

コミュニティ把握調査委託料で、担い手不足や役割分担の負担感など、現状の集落単位での地域運営の実態を調査し、今後のコミュニティの在り方を検討していくための基礎資料として活用するもの。

感染症予防事業 1638万円

今回新たに带状疱疹ワクチン予防接種の費用の一部が助成されることとなった。65歳以上の定期予防接種の方などが対象。



ぱぶりかの室内

3 3日 3月定例会: 本会議(町長提出議案の説明)
4日 : 本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
7日 : 本会議(一般質問)
10日 : 委員会審査
11日 : 委員会審査
12日 : 委員会審査
13日 : 委員会審査
14日 : 委員会審査
17日 : 委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
18日 : 本会議(委員長報告、討論、採決)
25日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
27日 雲南市・飯南町事務組協議会3月定例会

教育経済常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：戸谷ひとみ
委員：伊藤好晴 内藤真一 平石玲児

常任委員会 報告

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

道路除雪事業 4780万円
除雪の出動状況から、除雪費不足が見込まれ追加した。

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第9号)

リースハウス団地整備事業 △3869万円
10棟建設を予定していたが、事業者撤退により4棟に減少した。
中途解約に対応できる契約内容に変更を求めた。

琴引スキー場外臨時管理費 2200万円
スキー場の入場者数見込みが3万2千人に達しないことによる指定管理料の増額。最終的な支払額は、入場者数が確定後減額補正する。

令和7年度 飯南町一般会計予算

スマート農業導入支援事業 750万円
スマート機能を搭載したトラクターを購入するための国と町の補助金。
昨年も申請したが採択されなかった。作業効率アップによるコスト削減効果が平野部に比較して低く、採択に必要なポイントが取れないことに要因がある。平野部と中山間地という環境の差を考慮に入れることを知事要望しているとの説明を受けた。

※スマート農業とは
ロボット技術や情報通信技術(ICT)、AI(人工知能)などの先端技術を活用して、農作業の効率化や省力化、精密化を図る新しい農業の形です。人手不足の解消や作業負担の軽減にもつながります。



スマートトラクターによる耕うん

道路除雪事業

除雪作業車両等維持費2621万円、除雪作業費3324万円、流雪溝等維持費119万円の合計。

除雪作業用車両の老朽化が著しく、計画的な更新を求める意見があった。

それに対し、社会資本整備総合交付金の配分が減少しており、町においても道路改良に重点を置いているため、1億664万円のなかから666万円しか配分できない。除雪作業用車両等維持費のなかで対処しなければならず厳しい。起債を財源にすれば更新は可能だが、財政の状況から難しいとの回答があった。

6064万円



志々公民館 森田竜生 主事

除雪車の老朽化も聞くので、車両維持が気になります。除雪依頼にも、他の場所を除雪中ですぐの対応ができないこともあり、オペレーターの確保も課題だと思います。

町産材製材加工推進事業 560万円

町内にある製材所は、本町の林業、建築業に大きく関わるため、存続に必要な施策を検討するための委託費。

継続的な委託にならないよう検討内容の確認を求めた。

木質バイオマス推進事業(バイオマス産業都市構想検証委託料) 132万円

飯南町バイオマス産業都市構想の各項目について検証する委託料。

これまで町としてバイオマスセンターの運営を支援してきたが、経営状況は改善していない。飯石森林組合の事業休止という経営判断があり、抜本的な検討が必要だとの意見があった。

当初のバイオマスセンターの運営環境等が変化している。課題整理を行い、現状にあった運営方法を運営母体も含め再検討するとの答弁があった。

琴引スキー場外臨時管理費(スキーリフト自動改札システム整備) 3630万円

リフト券発券システムの老朽化により更新する費用。
高額なスキーリフト自動改札システムへの更新は町民の理解が得られない。利便性は向上するが、集客力向上や経営改善にはつながらないという意見が全員だった。現行と同等の発券機導入を求めた。現行と同等のものはおよそ600万円という説明を受けた。審査意見を付す。

【審査意見】

高額なスキーリフト自動改札システムへの更新は、2030島根国民スポーツ大会終了後の琴引スキー場の在り方とも大きく関連する。真に必要な機材であるかを慎重に議論し導入することを求める。



琴引フォレストパークスキー場

学校運営補助金 267万円

小中学校における修学旅行、校外活動、部活動等の教育活動を支援するための補助金。来年度の修学旅行は、小学校は広島市で平和学習を中心に1泊2日の日程で行う。中学校は今年度と同様、東京都周辺で2泊3日の日程で計画しているとの説明があった。

中学校訪問時、修学旅行の様子をビデオで視聴した。本町の魅力を再発見できたと聞き、安心した。

放課後子どもプラン推進事業

放課後子ども教室の運営に要する経費。利用者数の増加に対し必要な人員の確保が難しい教室があるため、町内事業者から人材支援を受ける費用が含まれる。

スタッフの講習について質疑があり、来年度、放課後児童クラブ職員等専門研修の受講、町独自の講習会開催等を考えているとの回答があった。

1004万円



来島公民館 加藤郁海 主事

配慮の必要な児童への適切な対応を求められるので、指導員全員が研修を受けるべきです。

発達障がいのある児童に対応できる放課後等デイサービスもなく、子育てしやすい町として環境の整備が急務だと思います。

物価高騰補助金 245万円

給食費の保護者負担を据え置くため、物価高騰部分を補助する予算。

全員協議会の報告

令和7年2月7日(金)

- ①除雪中の事故
- ②飯南町中期財政計画
- ③Uターン施策
- ④脱炭素
- ⑤志津見ダム周辺地域における河川空間オープン化
- ⑥いじめ事案の和解
- ⑦志々小学校の耐震診断結果とその後の対応
- ⑧飯南町教育環境基本計画(素案)
- ⑨飯南町農林業振興計画(素案)

令和7年3月17日(月)

- ①令和6年頃原上町団地建設工事の変更契約
- ②飯南木質バイオマスセンターでのおが粉生産中止
- ③琴引フォレストパークの営業状況
- ④特別養護老人ホーム(介護事業)統合の現状
- ⑤飯南町高齢者補聴器購入費助成事業
- ⑥令和7年度医師・診療体制

ボランティアに支えられる 配食サービス

飯南町社会福祉協議会

あいう ゆみこ
吾郷 由美子さん
たなか あやの
田中 綾野さん

配食サービスは町からの委託事業で、毎週火曜と金曜の週2回、調理・配送のボランティアの協力を得て実施しています。この事業は栄養面の改善だけではなく、生活の見守りという役割もあります。弁当配達時に体調の異変に気づき、受診につなげたこともあります。

お弁当と一緒に届けられるもの

「お弁当を届けにまいりま



それぞれ違う掛け紙も楽しみ

した。お変わりないですか」「無理のないように。何かあったら社協に連絡くださいね」配達ボランティアの方も心得ておられ、お弁当を渡す時にはあたたかい声掛けをされています。

利用者の中には人と話す機会が少ない方もおられ、配達ボランティアの方との会話を楽しみにされているようです。このような訪問は、生活状況の把握や安否確認にもつながっています。

弁当の掛け紙は、保育所児から小中高校生、個人やサロンに参加される方などが作ってください。小中高校生

が掛け紙を作る時にはメッセージを書いてもらいます。普段は会うことがない高齢者の生活を想像したり、自分のできることで配食サービスに関わることで、自然と思いやりの気持ちが生まれます。

手作りのお弁当と心のこもった掛け紙は、お弁当を受け取った方の体と心も元気にしています。

利用者から届く感謝の気持ち

「大雪の中でも、お弁当を届けていただきありがとうございます。これで元氣になります。みなさん優しく声をかけていただき、関わってくださっている方を神様と思っています。お弁当は仏壇にお供えし、一緒に届けられる手紙を読んでもからいただきます。その日の献立を参考に自分でも料理を作ります」と喜んでおられました。



ボランティア募集中

この事業は、人と人とのつながりを深め、高齢者の生活を支える大切な事業で、今後もたくさんの方に協力していただきながら継続したいです。

約400人のボランティアに支えられている配食サービスですが、ボランティアの確保が喫緊の課題です。長らくボランティアをしてこられた方も高齢となり辞められる方が増えてきました。これからはボランティア休暇等を利用して、若い世代も含めた多くの方に協力していただけたらと願っています。

今月の表紙写真



調理ボランティアの方々は、参加する回数も時期も人それぞれ。年1回の方や、畑仕事が出来ない冬だけという方など、ご希望に合わせて日程が組んであります。

料理が好きだから楽しいという方も、料理は得意じゃないけど、混ぜたり弁当箱に詰めたり、できることを無理なくさせてもらっていますという方もおられます。

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長：戸谷 ひとみ 副委員長：平石 玲児 委員：伊藤 好晴 高橋 英次 安部 誠也 安部 丘

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867